

短 報

看護提供システムⅡにおける災害看護教育の試み

中村 綾子¹⁾ 井部 俊子¹⁾ 倉岡有美子¹⁾ 奥 裕美²⁾

The Pilot of the Disaster Nursing Education in the Health Care Delivery System II

Ayako NAKAMURA, RN, MN¹⁾ Toshiko IBE, RN, PhD¹⁾
Yumiko KURAOKA, RN, MN¹⁾ Hiromi OKU, RN, MN²⁾

[Abstract]

“Health care delivery system II” is one course which constitutes “the foundations of nursing” among the special courses in the curriculum of St. Luke’s College of Nursing. The purpose of a course is: “Students select a specific theme based on the study of “health care delivery system I” . They deepen their understanding about the present condition and the problem in a health care delivery system, with the view towards solution of the problem.” This is an elective course open to seniors. Until the last academic year, nurse’s social standing and influential voice were themes of the course. However, in recent years students wished for the study of disaster nursing. Therefore, this year the theme of health care delivery system II was changed into disaster nursing. The contents focused on the Great East Japan Earthquake. The class consisted of: progress of a disaster, cultivation of health care professionals in disaster, training systems for disaster nurses and dispatching health care professionals to disaster areas, the health care professional as a disaster victim, activity of a disaster nursing support organization, nursing in a new type of influenza and the sarin gas attack in the Tokyo subway. Furthermore, the national disaster medical center was inspected. It is preferable for the domains of various nursing to collaborate and to provide education about disaster nursing.

[Key words] disaster nursing, nursing administration, curriculum

[要 旨]

「看護提供システムⅡ」は、本学のカリキュラムにおける専門科目のうち、「看護の基本」を構成する1科目である。「看護提供システムⅠで学習した内容を基盤として特定のテーマを取り上げ、看護提供システムにおける現状と課題について理解を深めるとともに、その課題の解決に向けた展望をもつことができる」という学修目的を持ち、4年生を対象に選択科目として開講される。これまで、看護師の社会的地位や発言力をテーマとしてきたが、近年、学生から災害看護の学習を望む声が寄せられており、今年度は、科目のテーマに「災害看護」を掲げた。履修学生の学習ニーズを踏まえ、東日本大震災に関する内容のほか、災害の経過と必要とされる看護、災害支援を担う看護師の養成と医療者の派遣システム、被災者としての医療者、災害看護支援機構の活動、新型インフルエンザ・地下鉄サリン事件と看護に関する講義ならびに国立災害医療センターの見学を行った。今後は、領域横断的な科目の構成も望まれる。

[キーワード] 災害看護, 看護管理学, カリキュラム

1) 聖路加看護大学 看護管理学 St. Luke’s College of Nursing, Nursing Administration

2) 聖路加看護大学大学院博士後期課程 St. Luke’s College of Nursing, Graduate School Doctoral Course

I. はじめに

看護提供システムⅡは、本学のカリキュラムが教養科目、基礎科目、専門科目に大別される中、専門科目に含まれる科目である。専門科目には、「看護の基本」「人間と環境の相互作用」「臨地実習」「看護学統合」があるが、このうち、基礎看護や国際看護などが含まれる「看護の基本」を構成する11科目のうちの1科目である。看護提供システムⅠは、2年生（学士編入生は3年前期）を対象に必修科目（2単位）として開講しており、「看護を必要としている人々に対して看護を提供するためにどのような仕組みがあり、どのような人が関わっているかを学習する」という学修目的のもと、組織化とその運営において有用な基礎理論や、医療安全、労働科学、質保証、継続教育などについて教授する。災害看護についても全15回の1コマ（90分）を使い、災害看護の概要のほか、聖路加国際病院が多数の傷病者を受け入れた「地下鉄サリン事件」について教授している。これに対して、看護提供システムⅡは、「看護提供システムⅠで学習した内容を基盤として特定のテーマを取り上げ、看護提供システムにおける現状と課題について理解を深めるとともに、その課題の解決に向けた展望をもつことができる」という学修目的をもち、4年生を対象に選択科目（1単位）として開講してきた。これまでは、看護師の社会的地位や発言力をテーマに、文献の抄読を中心として構成しており、例年、受講者数は数名から10名程度で、2010年度は受講希望者が非常に少なかったことから開講を取りやめていた。

そのような中、近年、「災害看護を学びたいが、本学では災害看護が一つの科目として独立して教授されていない」との意見が学生から寄せられていた。そこで今年度、看護提供システムⅡの科目のテーマに「災害看護」を掲げ授業を行うこととした。

本稿では、看護提供システムⅡにおける災害看護開講までの経緯と、教授内容、ならびに学生からのフィードバックについて報告する。

II. 看護提供システムⅡにおける災害看護開講までの経緯

これまで看護提供システムⅡにおいては、看護師の社会的地位や発言力をテーマとして、文献の抄読を行いながら検討してきた（表1）。受講者数の推移は2007年度が4名、2008年度が3名、2009年度が12名であった。さらに、2010年度は受講希望者が1名のため開講していない。

一方、災害看護は、本学のカリキュラムにおいて、科目の一部において扱う科目はあったが、独立した科目

とされているものはなかった。看護管理学領域においては、前述の通り、看護提供システムⅠ（必修）において聖路加国際病院における地下鉄サリン事件に伴う患者の受け入れを中心として教授してきたが、近年、複数の学生から「災害看護についてもっと時間をかけて学びたい。災害看護を開講してほしい」との意見が聞かれていた。

このような意見を寄せた学生有志に、奥（助教・看護管理学 当時）、小林真朝（助教・地域看護学）、中村の3名が加わり、2008年度、災害看護に関する学習会を正規の授業外で10回程度開催した。ここでは、災害看護の概要や、災害への備え、応急手当て、災害シミュレーションなど、各学生が自身の関心に沿ったテーマを決めて、交代でプレゼンテーションを行う形で学習を進めた。さらに、4年生（当時）の谷本加苗と吉村明恵が2008年度卒業論文として「災害看護学教育カリキュラム構築に関する研究」をまとめ、本学における災害看護教育カリキュラム案を示している（表2）¹⁾。

既存の看護提供システムⅡの履修者数の減少ならびに災害看護に対する学生の学習ニーズの高まりから、看護提供システムⅡの教授内容を大きく変え、災害看護をテーマに掲げ、科目を構成することとした。

III. 看護提供システムⅡにおける災害看護の教授計画と内容

看護提供システムⅡにおいて、災害看護を教授するにあたっては、次の4点に留意した。第1に災害医療、看護の提供システムのあり方についての内容を含むこと、第2に災害看護の概論と各論のバランスを考慮すること、第3に可能な限り実際の災害看護の経験を伝えること、第4に災害看護の提供は、発災前から発災後長期間にわたりなされていることを伝えること。

当初の計画では、災害看護の概論について教授し、その後、地下鉄サリン事件、新潟中越地震、新型インフルエンザといった実際に生じた災害のうち、科目の担当教員がこれまでに災害看護の提供を経験してきた災害を扱うこととした。さらに、中・長期的な被災者の視点について学ぶことを目的に、地下鉄サリン事件の被害者の語りで構成される『アンダーグラウンド』（村上.1997）を抄読することとし、2011年2月にシラバスを作成した（表3）。

このような中、東日本大震災が2011年3月11日に発生した。2011年4月に登録した履修者は17名となった。履修希望の学生に関心のあるテーマを尋ねたところ、東日本大震災における看護の実際のほか、災害時のトリアージ、被災者の心のケア、国際的な災害支援、災害支援を行う看護師の養成についてなど、災害看護の実際か

ら提供のシステムまで、災害の発生前の準備から、発災時、そして慢性期のケアまでと、関心は多岐にわたっていた。

学生のニーズと東日本大震災に関する内容を取り入れる形で、授業計画を再構成した(表4)。具体的には、災害看護の概説、災害の経過と必要とされる看護、災害支援を担う看護師の養成と医療者の派遣システム、被災者としての医療者、自然災害(生物学系…新型インフルエンザ)と看護、自然災害(地質学系…東日本大震災)と看護、人為災害(複合災害…地下鉄サリン事件)と看護、災害看護支援機構の活動をテーマとして扱い、施設見学(国立災害医療センター)および災害看護に関する文献検討と発表会も実施することとした(表5)。

「災害看護支援機構の活動」については、災害看護の第一人者である山崎達枝氏に海外での災害看護、災害支援の実際に関する特別講義を依頼するとともに、国立災害医療センターには、災害医療に特化した設備の概要ならびに被災地への医療者派遣と被災地からの傷病者の受け入れについて学ぶことを目的に見学を依頼した。また、「災害の経過と必要とされる看護」においては、トリアージに関して急性・重症患者看護専門看護師の宇都宮明美氏(准教授・成人看護学)にJR福知山線脱線転覆事故における現場でのトリアージと傷病者の受け入れについて講義を依頼した。さらに、東日本大震災については、3月に南三陸町に医療・看護ボランティアに赴いた本学卒業生の芝田おぐさ氏に現地の被災状況と避難所の健康問題について講義を依頼した。なお、新型インフルエンザについては、前職において病棟管理者として新型インフルエンザ患者の発生初期から多数の患者を受け入れた倉岡が、地下鉄サリン事件については、前職において副院長、看護部長として多数の傷病者を受け入れた井部がそれぞれ担当した。

IV. 教授内容に対する評価と今後の課題

授業最終日に学生に、看護提供システムⅡの授業の感想を尋ねたところ次のような意見が寄せられた。まず、災害看護については、各科目の中で行うのではなく、一つの科目としてまとめて教授してほしいという意見は一

致していた。必修か選択科目とするかについては、必修科目にしたほうがよいという意見と、選択科目のほうがモチベーションの高い学生が集まり、人数も多すぎることなく学びやすいといった意見が聞かれた。

また、教授方法に関しては、施設見学や映像資料の利用ならびにこれまで災害看護を提供してきた看護師の講義は、実際の状況が伝わりよかったとの声が寄せられた。基本的知識を得るために、教員によって構成されたレジュメに基づく講義形式がよいとの意見がある一方、関心があるテーマを各自が調べ、発表や討議を行うゼミ形式を望むといった声も聞かれた。

さらに、本学で災害看護の提供に携わる他領域の教員からも実践の話を知りたいとの声も聞かれたほか、厚生労働省の看護技官に、国としての災害医療、看護の構築について講義を受けたいとの意見も寄せられた。

V. おわりに

看護提供システムⅡにおける災害看護の開講は、学生の関心を引き付け、例年の看護提供システムⅡよりも多くの学生の履修があったが、今後は、広く領域を越えて、災害看護に携わる本学の教員や聖路加国際病院の看護師に講義を依頼するなど、学内外の資源を活用し内容の充実を図ることが考えられる。一方、災害看護を看護提供システムⅡのテーマとしたことにより、これまで教授してきた看護師の社会的地位や発言力に関する問題を扱う機会を逸しており、今後も看護提供システムⅡの中で、災害看護を教授するべきか検討が必要である。さらに、災害時の看護に対する社会的ニーズの高まりや平成21年度の看護師養成所指定規則のカリキュラム改正において災害看護が組み込まれたことを考慮すると、学部教育における災害看護教育は、看護提供システムⅡの枠を超え、領域横断的な科目として構成する検討も望まれる。

引用文献

- 1) 谷本加苗, 吉村明恵. (2009). 災害看護学教育カリキュラム構築に関する研究. 2008年度聖路加看護大学看護学部卒業論文. 75.

表1 看護提供システムⅡ 2010年度シラバス

科目名	4年生, 学士12回生 前期	選択	1単位
<u>看護提供システムⅡ</u>	担当教員	*中村綾子 井部俊子, 野田有美子	
<p>目的：看護提供システムⅠで学習した内容を基盤として特定のテーマを取り上げ、看護提供システムにおける現状と課題について理解を深めるとともに、その課題の解決に向けた展望をもつことができる。</p> <p>目標：1. 討議や文献検討を通じて、看護提供システムにおける現状を知ることができる。 2.1より、看護提供システムにおける課題を考えることができる。 3.2より、看護提供システム上の課題の解決方法について検討することができる。</p> <p>方法：看護管理領域における卒業生・修了生の研究論文や文献等を教材としてその内容に基づき討議する。看護管理に関連する団体や施設を訪問し看護提供システムにおける現状や課題に関する知見を得る。(見学先は学生の関心に応じて設定する) 看護管理上の課題を見つけ文献検討を行う。</p> <p>内容：グループワーク, 討議, 文献検討, 見学等</p> <p>評価方法：出席(30%), 授業への参加状況(30%), 文献検討発表内容(30%), 見学レポート(10%)</p> <p>教科書：特に指定しない。</p> <p>参考書：Nelson Sioban, Gordon Suzanne(2006).The Complexities of Care Nursing Reconsidered. 井部俊子監修. 阿部美里訳(2007). ケアの複雑性. エルゼビア・ジャパン。</p>			

	日程	講義内容	備考
1	4月16日(金)	オリエンテーション	
2	4月16日(金)	看護提供システムⅡ概説	
3	4月23日(金)	文献抄読会(看護師の社会への発言力を高めることに関連した文献の抄読)	
4	4月23日(金)	文献抄読会(看護師の社会への発言力を高めることに関連した文献の抄読)	
5	5月7日(金)	看護管理学分野の卒業論文・修士論文から学ぶ	
6	5月7日(金)	看護管理学分野の卒業論文・修士論文から学ぶ	
7	5月14日(金)	看護管理に関連する団体や施設を訪問, 見学	
8	5月14日(金)	看護管理に関連する団体や施設を訪問, 見学	
9	5月21日(金)	見学報告会	
10	5月21日(金)	見学報告会	
11	5月28日(金)	文献検討とまとめ(関心のあるテーマに関するディスカッション)	
12	5月28日(金)	文献検討とまとめ(関心のあるテーマに関するディスカッション)	
13	6月11日(金)	文献検討発表会	
14	6月11日(金)	文献検討発表会	

表2 聖路加看護大学「災害看護論」授業内容(案)

授業回数	内 容	講 師	媒 体
1	概論：災害の定義，災害の歴史，災害の種類，災害サイクル，災害種類別の疾病構造	看護管理学教員	DVD
2	概論：首都圏に発生する可能性の高い災害，災害発生時の社会の対応システム（災害に関する制度，国内の災害関係各機関の支援体制（災害拠点病院））	東京都総務局総合防災部防災管理課職員	
3	災害直後（急性期，亜急性期）における看護活動：災害時に必要な技術（トリアージ，搬送）	成人看護学教員	DVD 見本用トリアージタグを全員に配布
4	病院における看護：病院での備え（院内での日常点検チェックリスト作成），初動体制，災害訓練，院内での多職種連携，特殊災害と看護：NBC（Nuclear，Biological，Chemical）災害，マスギャザリング	病院医師あるいは看護師	サリン事件時の映像，現場の状況を説明してもらう
5,6	災害中・長期における看護：避難所・仮設住宅・復興住宅における看護（高齢者看護と災害：災害時要支援者への支援，遺体の取り扱いを含む），地域での多職種連携	地域看護学教員	DVD
7	小児看護と災害：被災地で生活する子どもたち及びその家族への支援，疾患とともに生活している子どもたちへの支援	小児看護学教員	
8	慢性期看護と災害：在宅酸素療法，在宅療養中，糖尿病，慢性腎不全，がん患者への災害時の支援	成人看護学教員	
9	母性看護と災害：災害時に妊産婦や胎児・乳幼児にみられた反応，災害時の妊産褥婦への支援	母性看護学教員	
10	精神看護と災害：災害時の被災者・救援者の心理，災害時の精神障害者への支援，精神科治療を要する被災者の見極め	精神看護学教員	被災者の実体験がわかる映像あるいは文献
11	グループワーク：こころのケアのロールプレイング	精神看護学教員	
12	PBL（Problem Based Learning）：避難所における看護（避難所で発生する健康問題，避難所での配置）例えば地震事例と水害事例にわかる	地域看護学教員	
13	感染看護と災害：避難所での衛生面の管理を中心に	地域看護学教員	
14	国際看護と災害：国際社会における災害関係各機関の支援体制，国際的な災害看護活動	災害時国際救援活動を実施した看護職	
15	災害への備え：地域アセスメント，個人の備え，災害ボランティア活動（特に活動時の心構え）	地域看護学教員	

表3 看護提供システムⅡ 2011年度シラバス

科目名	4年生, 学士13回生 前期	選択	1単位
<u>看護提供システムⅡ</u>	担当教員	*中村綾子 井部俊子, 倉岡有美子	
<p>目的：看護提供システムⅠで学習した内容を基盤として特定のテーマを取り上げ、看護提供システムにおける現状と課題について理解を深めるとともに、その課題の解決に向けた展望をもつことができる。本年度は、災害看護をテーマとする。</p> <p>目標：1. 討議や文献検討を通じて、災害時の看護提供システムの現状を知ることができる。 2.1より、災害看護提供システムにおける課題を考えることができる。 3.2より、災害看護提供システム上の課題の解決方法について検討できる。</p> <p>方法：災害看護の文献等を教材としてその内容に基づき討議する。 災害看護に関連する団体や施設を訪問し災害看護の提供システムにおける現状や課題に関する知見を得る。(見学先は学生の関心に応じて設定する) 災害看護の管理上の課題を見つけ文献検討を行う。</p> <p>内容：グループワーク, 討議, 文献検討, 見学等</p> <p>評価方法：出席(30%), 授業への参加状況(30%), 文献検討発表内容(30%), レポート(10%)</p> <p>教科書：村上春樹(1997). アンダーグラウンド. 講談社.</p> <p>参考書：南裕子, 山本あい子(2007). 災害看護学習テキスト概論編. 日本看護協会出版会.</p>			

	日程	講義内容	備考
1	4月15日(金)	オリエンテーション・災害看護概説①	
2	4月15日(金)	災害看護概説②	
3	4月22日(金)	人為災害(複合災害…地下鉄サリン事件)と看護	
4	4月22日(金)	文献抄読(アンダーグラウンド)	
5	5月6日(金)	文献抄読(アンダーグラウンド)	
6	5月6日(金)	自然災害(複合災害…新型インフルエンザ)と看護	
7	5月13日(金)	自然災害(地質学系…新潟中越地震)と看護	
8	5月13日(金)	災害看護支援機構の活動	
9	5月20日(金)	災害看護に関する文献検討ならびに施設見学準備	
10	5月20日(金)	災害看護に関する文献検討ならびに施設見学準備	
11	5月27日(金)	施設見学(国立災害医療センター予定)	
12	5月27日(金)	施設見学(国立災害医療センター予定)	
13	6月3日(金)	文献検討発表会	
14	6月3日(金)	見学発表会	

表4 看護提供システムⅡ 2011年度シラバス 改訂版

科目名	4年生, 学士13回生 前期	選択	1単位
<u>看護提供システムⅡ</u>	担当教員	*中村綾子 井部俊子, 倉岡有美子	
<p>目的：看護提供システムⅠで学習した内容を基盤として特定のテーマを取り上げ、看護提供システムにおける現状と課題について理解を深めるとともに、その課題の解決に向けた展望をもつことができる。本年度は、災害看護をテーマとする。</p> <p>目標：1. 討議や文献検討を通じて、災害時の看護提供システムの現状を知ることができる。 2.1より、災害看護提供システムにおける課題を考えることができる。 3.2より、災害看護提供システム上の課題の解決方法について検討できる。</p> <p>方法：災害看護の文献等を教材としてその内容に基づき討議する。 災害看護に関連する団体や施設を訪問し災害看護の提供システムにおける現状や課題に関する知見を得る。(見学先は学生の関心に応じて設定する) 災害看護の管理上の課題を見つけ文献検討を行う。</p> <p>内容：グループワーク, 討議, 文献検討, 見学等</p> <p>評価方法：出席(30%), 授業への参加状況(30%), 文献検討発表内容(30%), レポート(10%)</p> <p>教科書：村上春樹(1997). アンダーグラウンド. 講談社.</p> <p>参考書：南裕子, 山本あい子(2007). 災害看護学習テキスト概論編. 日本看護協会出版会.</p>			

	日程	講義内容	備考
1	4月15日(金)	オリエンテーション・災害看護概説①	
2	4月15日(金)	災害看護概説②	
3	4月22日(金)	災害の経過と必要とされる看護	
4	4月22日(金)	災害支援を担う看護師の養成と医療者の派遣システム	
5	5月6日(金)	被災者としての医療者	
6	5月6日(金)	自然災害(生物学系…新型インフルエンザ)と看護	
7	5月13日(金)	自然災害(地質学系…東日本大震災)と看護	
8	5月13日(金)	人為災害(複合災害…地下鉄サリン事件)と看護	
9	5月20日(金)	災害看護支援機構の活動	
10	5月20日(金)	災害看護に関する文献検討ならびに施設見学準備	
11	5月27日(金)	施設見学(国立災害医療センター) 13:30～16:30	
12	5月27日(金)	施設見学(国立災害医療センター)	
13	6月3日(金)	文献検討発表会 *グループごとにテーマを決め文献を収集し研究動向を発表する。	
14	6月3日(金)	見学発表会	

*改訂時に変更した箇所を下線で示した。

表5 2011年度の看護提供システムⅡにおける具体的な講義内容

<p>1. 災害看護概説</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 災害に対する個人の備え (2) 災害看護の歴史 (3) 災害看護の定義と役割 (4) 災害看護の理論 (5) 災害看護に関連する法律, 制度 (6) 災害サイクルと求められる看護 (7) 災害の種類と特徴 (8) 情報の伝達と収集の方法 (9) 災害時の医療提供 (災害支援病院) <p>2. 災害の経過と必要とされる看護</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 災害初期の看護 (2) 災害中長期の看護 (3) ところのケア (4) トリアージ (JR 福知山線脱線事故におけるトリアージと傷病者の受け入れ) <p>3. 災害支援を担う看護師の養成と医療者の派遣システム</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 災害現場へのマンパワーの供給 (2) 日本赤十字社 (3) 日本看護協会 (災害支援ナース) (4) DMAT (Disaster Medical Assistance Team・災害派遣医療チーム) (5) 災害看護支援機構 <p>4. 被災者としての医療者</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 援助者の立場と役割 (2) 援助者のストレス (サバイバー・ギルト) (3) 救援時期ごとの援助者の心理 (4) 援助者特有のストレス反応と処理方法 	<p>5. 自然災害 (生物学系…新型インフルエンザ) と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 第2種感染症 (2) 新型インフルエンザの概要と警報のフェーズ (3) 新型インフルエンザの患者受け入れ時の問題と看護管理者と看護師の取り組み <p>6. 自然災害 (地質学系…東日本大震災) と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 東日本大震災の概要 (2) 東日本大震災の被害状況と復旧状況 (3) 全国, 世界からの医療支援 (4) 避難所での看護活動報告と避難所入所者の健康問題 <p>7. 人為災害 (複合災害…地下鉄サリン事件) と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地下鉄サリン事件と聖路加国際病院の対応及び、危機対応における組織のありよう (2) 地下鉄サリン事件における PTSD (post-traumatic stress disorder・心的外傷後ストレス障害) と対応 <p>8. 災害看護支援機構の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 災害看護支援機構の立ち上げ (2) 災害看護支援機構の特徴 (3) ハイチ, 四川での活動の実際 <p>9. 施設見学 (国立災害医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 国立災害医療センターの設備見学 (2) 国立災害医療センターにおける被災地への医療者の派遣と傷病者の受け入れの実際 <p>10. 災害看護に関する文献検討と発表会</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------